



うのはな館 常設展示リニューアル

3月1日から常設展示が新しくなりました。
新しくなったうのはな館、ぜひ見に来てくださいね！

問い合わせ

郷土資料館(うのはな館) ☎82-1188

展示コーナー 東浦のはじまり



国指定史跡の^{いりみ}入海貝塚をはじめ、弥生時代や古墳時代の大きな村であったことが判明した^{てんぱく}天白遺跡の出土遺物を展示。



天白遺跡では、約80棟の^{たてあな}竪穴建物の跡が重なった状態で見つかったのじゃ。

入海貝塚は約7,000年前の貝塚。そんな昔から東浦に人が住んでいたのじゃね。

展示コーナー 東浦の移り変わり

縄文時代の入海貝塚から現代までの歴史を年表で紹介し、代表的な歴史的できごとをパネルで解説。



展示コーナー

徳川家康の生母 於大の方

緒川城主の娘として、家康の母として戦国の世に生きて於大の一生を紹介。また、戦国時代の緒川城や、村木砦の戦いをパネルで紹介。



緒川城は私が生まれたお城。森岡地区には、私の兄の水野信元と織田信長連合軍が、今川軍と戦った戦場があるのじゃ。

開催中！

うのはな館 春の企画展

火縄銃展

—信長が鉄砲を使った
村木砦の戦い—

とき

5月26日(日)まで

開館時間 午前9時～午後5時
※月曜休館

入館料
無料

展示コーナー

水野氏と乾坤院

戦国時代の緒川城主で東浦から全国に広がり大名になった水野一族や、水野氏と乾坤院のつながりなどを紹介。



堅雄堂の模型(左)と宝珠瓦の復元品(右)が展示してあるのじゃ。堅雄堂は水野氏と関係が深い建物で、私の父の水野忠政を顕彰するため、1670年(寛文10年)に水野忠善が乾坤院境内に建てたのじゃよ。残念ながら火事で燃えてしまったので、模型を作ってかつての姿を紹介しているのじゃ。



堅雄堂の中にあつた、水野忠政と忠善の木像の複製品も展示してあるのじゃ。右が私の父上の忠政公じゃ。



展示コーナー

東浦のものづくり



織布の町と呼ばれた東浦。その時代を支えた小型織機を展示。



かつては、のこぎり屋根の織布工場がたくさんあつて、東浦の一大産業だったのじゃ。